

# 学 校 便 り

熊本市立託麻南小学校 10月号

10月3日（木）の全校集会では以下のような話をしました。

## 〇〇の秋

### 〇〇の秋

秋といえば……。どんなことが思い浮かびますか。

例えば、「スポーツの秋」、「食欲の秋」「読書の秋」など。

みなさんにとって、秋はどんな秋になるのでしょうか。

スポーツや運動をするのに適した季節ですね。また、秋はおいしい旬のもの、栗、柿、梨、ブドウなどがたくさんあるので食欲をそそりますね。

また、夜の時間がだんだんと長くなっていくので、夜に本を読んでもみるのもいいかもしれませんね。

校長先生は、「読書の秋」にしたいと思っています。

あるお話を紹介します。

それは、作家・恩田陸さんの小説、「夜のピクニック」の中に出てくる高校生、戸田忍のセリフです。

戸田忍には、小さい時から、時々本をプレゼントしてくれるいところがありました。しかし、戸田忍はあまり本好きではなかったようで、面倒くさくてもらった本を読みませんでした。

ある時、小学生の時にプレゼントされた「ナルニア国ものがたり」をふと手に取って読んでみました。

そのあと、戸田忍はこんなことを言います。

「最後まで読み終わったときにどう思ったかという、とにかく頭に浮かんだのは『しまった！』っていうことだったんだ」「なんでこの本を小学校の時に読んでおかなかったんだろう。ものすごく後悔した。せめて中学生でもいい。10代の入り口で読んでおくべきだった。そうすればきっと、この本は絶対に大事な本になって、今の自分をつくるための何かになってたはずだったんだ。そう考えたら悔しくてたまらなかった。」

あの時、読んでおけばよかったと後悔しないように、今、出会った本を読んでもみるのはどうでしょうか。

